

<input type="checkbox"/> 出張報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 会議議事録		番号	DB22-010		
		作成日	2022 年 3 月 9 日		
件名	2022 年 3 月度 研究部部内会議 議事録	部課名	認可	審査	作成
		研究部	水川		大矢
日時	2022 年 3 月 9 日(木) 13:00～14:30	場所	6 号応接室、4 号応接室		
出席者	6 号応接室：研究部統括役員（速水専務） 研究部長（水川）、研究 G 長（寺本）、材ラボ長（久野）、知財 G 長（大矢）、寅屋敷、中務 4 号応接室：上荷、伊賀 小泉（今回欠席） ※敬称略				
議題、議事の趣旨、結論（決定事項・要処置事項）等					担当、期限
<p>1. 共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定事項 なし ・議論概要 報告のみ <p>2. 各グループ報告</p> <p>2.1 知財グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定事項 なし ・議論概要 <p>(4) 【重要】他社権利対応</p> <p>[速水専務] こういった売り込みはよくあるのか？</p> <p>⇒ [大矢 G 長] たまにあるが。個人からの直接売り込みが多い。</p> <p>[速水専務] 今回の個人発明家からの売り込みは荒唐無稽なものだったのか？</p> <p>⇒ [大矢 G 長] 今回のものは特許権も成立しているため、そういうわけではないが、当社事業領域と異なるため、従来どおり放置とした。2019 年には TDK から売り込みが来たことがあり、そのときには MEMS の関連特許のリストが添付されていたこともあった。</p> <p>⇒ [大矢 G 長] 今回のようなエージェントや、企業からの通知は、体の良い警告の場合もあり、精査をする必要があるということで今回対応している。</p> <p>[速水専務] TDK のものは警告ではなかったのか？</p> <p>⇒ [大矢 G 長] 内容を精査した結果、当社と関係のある特許がなく、その旨回答している。</p> <p>(7) 知財インフラ</p> <p>[水川部長] 特許管理システムに影響するということは契約管理システムにも影響があるのか？</p> <p>⇒ [大矢 G 長] 他ブラウザへ対応すると、知財が使用している機能のみ影響があり、契約管理システムには影響はない。契約管理システムユーザーに対しては、継続して Edge の IE モードで対応していただくようデスクネッツ等での通知が必要。IE のサポートは 2022/6 で終了するが、Edge の IE モードは 2028 年まで継続し、当社情報システムも使用を認めている。</p>					

配布先

研究部	1
統括役員	
各出席者	9
計	10

CONFIDENTIAL

本資料の内容に関わる全権利は、住友精密工業株式会社(SPP)に帰属するものであり、書面による SPP の承諾なしで、配布の目的以外に本資料を流用・複製・第三者へ提示することを厳に禁ずる。

2.2 研究グループ

・決定事項

- ① 営業からの新規事業創出に関し、資料作成に時間がかかり過ぎなので早く対応する。
- ② NEDO 補助金事業の実態調査に関し、事業になったもの、なっていないもの、技術が残ったもの等を分類する。
- ③ NEDO の補助金事業の実態調査は共同執務で報告する。
- ④ テストスタンドの画面表示「SPP 検査データ入力」のうち、「SPP」を削除する。

・議論概要

(1) 1) 【重要】営業からの新規事業創出

[速水専務] 資料作成に時間がかかり過ぎなので早く対応するように。一般化すればするほど当社の良さが薄れている。資料未完成ということが「お客さんのところに行けなかった」という、言い訳の道具にされないように。

[速水専務] オゾンであれば、「あっという間に高濃度でできるという、他にはないものである」といったものがキャッチーであろう。AOP でいえば、「如何にオゾンだけの場合と違うのか」、「レシピによって多様な対応が可能である」といったところであろう。

⇒ [寺本 G 長] 承知した。急ぐようにする。

(1) 4) TWI (接合・溶接研究所) について

[水川部長] TWI で得た情報共有はどこまでよいか？

⇒ [上荷 M] 当社内はよいが、子会社は NG である。

[寺本 G 長] ユーザーは何人でもよいのか？

⇒ [上荷 M] 無制限である。研究 G から技術部門へお願いしても登録してくれないと思うので、こちらでユーザー登録しておいたほうが良いだろうという人をピックアップし、本人へ確認した後、研究 G で登録作業を行う。

(1) 5) 【重要】NEDO 補助金事業の実態調査

[速水専務] 事業になったもの、なっていないもの、技術が残ったもの等を分類すること。

⇒ [寺本 G 長] 承知した。

[速水専務] これはどこで報告するのか？

⇒ [水川部長] 3/7 の経営会議で報告する予定であったが、研究開発テーマの決議という内容とは関連がないということで板倉専務からストップがかかった。共同執務で報告する。

(3) 2) 油機事業室の独自課題

[大矢 G 長] テストスタンドの「SPP 検査データ入力」の「SPP」は不要なので削除したほうが良いのではないか？

⇒ [水川部長] 削除する。

2.3 材料・プロセスリサーチラボ

・決定事項

- ① トリクレン測定結果について、3/10 に事業部門と共有する。
- ② トリクレンの件、環設、航製造だけでなく、安全厚生とも情報共有する。
- ③ 無電解Ni メッキの件、航機側が「どういうところがどう困っているか」を部長へ確認する。
- ④ 無電解Ni メッキの件、航機にスケジュールが入った計画を出してもらう。事前に、材ラボの支援が必要かどうかを確認する。

・議論概要

(1) 2) 【重要】化学物質：薬品管理に関する研究（トリクレン）

[速水専務] 誰が、いつまでに、どうしようとしているのか？

⇒ [久野G長] 結果を3/10 に事業部門と共有する。

[速水専務] リアルタイムで経時変化を確認することはできないのか？

⇒ [久野G長] 吸引するタイプと、検知管を設置して累積量を測定するタイプの2種類がある。7時間ほど放置しておき、1時間おきに私が変化を確認し、差分を取る。

- [速水専務] これこそ IOT を活用すべき。1時間毎に自動で写真撮影すればよいのではないのか。

[速水専務] 誰と話をするのか？

⇒ [久野G長] 環設、航製造とやっているが、安全厚生にも連絡する。

- [速水専務] うまくいっていないことはみんなわかっているのか？

⇒ [久野G長] わかっている。

(1) 3) 表面処理プロセス支援研究（無電解Ni メッキ）

[速水専務] 【重要】航機側は誰がカウンターパートになるのか？

⇒ [久野G長] 蓑田課長と佐藤次長がメインパーソンとなる。

[速水専務] どのように進めようとしているのか？

⇒ [久野G長] どういうところがどう困っているかを出してもらうようになっている。

- [速水専務] 水川さん、航機の部長へ状況を確認するように。

⇒ [水川部長] 承知した。

[速水専務] スケジュールが入った計画を出してもらうのがよい。

⇒ [久野G長] ざっくりとしたスケジュールであるが、10月には50%以下である歩留まりを70%へ、来年の今頃には80~90%にする。

- [速水専務] それは達成目標であり、そのためにどのようにするのか？一緒に考えてほしいと言われているのではないのか？そこは確認するように。

⇒ [久野G長] 承知した。

(1) 3) 表面処理プロセス支援研究（アロジン処理）

[寺本G長] デオキシダイザー6を試し、2000系は改善したが、6000系は改善しなかったということか？

⇒ [久野G長] アロジン処理は40年以上前に導入した表面処理で、耐食性のエビデンスがなく、NADCAP等の監査システムにおいて、「なぜこの処理が良いのか」というエビデンスを要求されているものの、それがないので、エビデンスのあるメーカー品へ変更しようとしているのが経緯である。酸処理槽のコーティングが壊れて建て替えの方向になっているので、そのタイミングで変更しようとしている。

- [寺本G長] 必ずしも耐食性が改善するかはわからないが、エビデンスのある液を使用したほうがよいということで、変更しようとしているということか？

⇒ [久野G長] その通りである。

※ 次回2022年5月度部内会議の資料担当は材ラボG長

以上.

関連文書類 2022年3月度 研究部 部内会議資料